

音楽科  
「心をつなぐ」

川崎市立片平小学校



単元（題材）目標

- 歌を通して手話を学び、歌いながら手話をするこゝで、手話への関心を高める。
- 友達と一緒に楽しみながら、手話に親しむ。
  - ・ 教材「友だち」（新しい友達との出会いをテーマにした曲。友達賛歌。）

（1）実施時期 4月初旬

（2）対象（学年等・人数） 第3学年 3クラス 120名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 各担任 3名 音楽専科 1名

（4）実施内容

- ① 学年当初のオリエンテーションとして
  - ・ コミュニケーションの手段の一つである手話を学び、それを使うことは、ハンディキャップを補うだけでなく、人間関係を豊かにするものであることを理解させる。
- ② クラスの愛唱歌として折にふれて
  - ・ 年間を通して、朝の会やクラス集会で歌えるものとする。
- ③ 思いを伝える手段として
  - ・ 手話だけでなく、相手の国の言語を学ぶなど様々な方法で意思が通じることを紹介する。（韓国人の講師に向けて韓国語の歌を歌ったり、スペイン語圏の転入生と一緒にラテン語の曲を歌ったりした。）

（5）成果

- コミュニケーションの手段として、手話について関心をもつことができた。
- 相手に思いを伝えるには、まず、相手の得意な言語（手話、相手の国の言語、筆談等）や相手の文化、相手の思いを知ることも大切であることを理解した。

（6）その他

今後も、様々な人々との交流の機会に、音楽で学んだことを生かして、豊かなふれあいの中で、学習を深めていきたい。